



職員が安心して働くことのできる  
環境を創るために力を注ぐ

現在の所属と業務は  
何ですか？

私の所属する職員課は、市役所職員の給与の計算や支払い、健康管理や保険手続きといった、職員の生活を支える業務をしています。

その中でも私は、日々、職員から提出される扶養や通勤、住居などに関する申請書類の審査や管理を行うとともに所得税や社会保険料の控除といった処理をしており、職員に給与を正確に支給できるように努力しています。

身についたスキルは何ですか？

以前に所属していた部署において、窓口で市民の方が来られた際、クレームを受けることもありましたが、市民の方が何に対して怒っているのか、一歩引いた目線で物事を全体的に俯瞰して見ることができ、適切な判断ができるようになりました。

夢を教えてください。

私は、中学生のころに法律分野に興味を持ち、大学進学後は法学を専門に勉強をしていたので、公務員として学んだ知識を活かしたいと考えています。様々な条例や規則の制定や改正に携わりたいと思っているため、今後は、多くの部署に異動し、経験を積み重ね、法制執務能力の向上だけでなく、公務員として更なる高みを目指したいです。



日々の業務における  
「大変さ」や「やりがい」は？

職員から提出された内容が給与支払い時の手当に反映されていないミスがないように、何重にもチェックを重ねた上で、申請内容をシステムへ入力し、給与の計算を行っています。給与の支払いは、毎月決まった日に支払うことになっています。そのため、月初めから15日にかけてがもっとも業務量が多く、忙しいですが、集中して業務に取り組んでいます。

そして、給与の支払い日に給与に関する職員からの問い合わせが全く無かった時は、一つもミスがなく終わらせることができたといことであり、自身の働きに満足を感じます。



就職先として  
伊勢原市役所を選んだ理由は？

長年伊勢原市に住んでいて地元愛が強くあり、生まれ育った伊勢原のまちや伊勢原に住む方々の役に立ちたいと思ったことが大きな理由の一つです。

また、伊勢原市は、新宿まで電車で60分弱と都心へのアクセスが良く、広域幹線道路の整備も進み、利便性が高く、今後発展が期待できるまちです。

都心に近い位置に立地しながらも大山をはじめとする豊かな自然環境や悠久の歴史や文化などが豊富な観光地でもあり、住んでよし、訪れてよしの、魅力的なまちであると感じたことも選択した理由の一つです。

## POINT! 伊勢原市役所に入ってよかったこと

伊勢原市役所は、自分の課だけではなく、他課の人と幅広くコミュニケーションをとることができる風土があります。様々な課の人たちと仲良くなり、他の課に頼みごとがあったときにもこころよく協力してくれるので、とても雰囲気良く働きやすい職場だなと思いました。本当にこの職場に入れてよかったと思っています。





税負担の公平性と市税の安定した確保に向けて、徴税吏員として活躍する

現在の所属と業務は何ですか？

私の所属する収納課は、市税を納めていただけない方に納税を催告したり、差押処分などの滞納処分を行う滞納整理係と、口座振替に関する事務や納付された税金のデータを確認し、過誤納金の還付を行う収納管理係に分かれています。

私は滞納整理係に配置されており、滞納者からの相談を受けたり、滞納者の財産を調査するのが日常の業務です。滞納者がいると納税者との公平性が保てなくなってしまうため、時には財産の差押えを執行することもあります。

一方で、病気や失職など、やむを得ない事情により、どうしても納付できない方については、適切に猶予制度を適用するように心掛けています。

## POINT! 伊勢原市役所に入ってよかったこと

職場の雰囲気が良いことです。仕事やプライベートのことを気軽に相談でき、働きやすい環境です。休暇も取得しやすく、職員ひとりひとりがお互いにフォローし合う気持ちが強いと思います。休暇をいただいた分がんばるぞと思って出勤しています。



日々の業務における「やりがい」は何ですか？

滞納者と折衝したのち、自主的に納付された時にやりがいを感じています。最終的には滞納者から納期限を守る納税者へ変えていくことが使命であると思います。

伊勢原市ではコンビニ納付だけでなくPayPayやLINE-Payといったキャッシュレス決済を導入し、納税者の利便性を高めています。こうしたハード面の整備からも徴収率が向上し、伊勢原市の自主財源の確保にも繋がりますが、自分の滞納整理の業務こそが納税者の公平性を確保し、伊勢原市の財源確保に直結することになるので、今後も責任感を強く持ち担当業務に取り組んでいきます。

休日の過ごし方は？

休日は、家族と外出したり、友人と会ったりして、気持ちをリフレッシュしています。



学生時代にやっておいたほうがいいことは？

自分が興味を持っていることに対して積極的に取り組むことです。友人との交流、海外旅行、資格の勉強など、日々の生活を充実して過ごすことが大切だと思います。

伊勢原市役所を選んだ理由は？

生まれ育った神奈川県で仕事をしたい気持ちが強くありました。

今後、少子高齢化がさらに進みますが、伊勢原市には病院が多く、子供から高齢者まで安心して暮らせるまちということに、魅力を感じました。



## 土木部 下水道整備課



### 市民生活を支えるインフラの整備に 熱意を捧げる

#### 現在の所属と業務は何ですか？

私の所属する下水道整備課は、公共下水道にかかる設計や整備、維持・修繕を行っています。年間のスケジュールとしては、4月から7月にかけては、下水道管埋設工事の設計を行い、8月以降は、工事現場を見回り、工事が工程どおり進捗しているか、監督・指導を行っています。公共下水道は住宅と密接にかかわるため、周辺住民の方々への影響が多く、実際に現場に行き、住民の方々の声を丁寧に聴きながら業務を進めています。

#### 日々の業務における「大変さ」や「やりがい」は？

日々の業務の中で、マンホールから下水道を確認することがあります。下水道内に溜まる硫化水素の濃度が高いと呼吸が困難になってしまい、時には命の危険が伴うこともあるので、安全確認を徹底して業務を行っています。

一方、大変なこともあります。やりがいも感じられます。工事が完了した後に住民の方々から「ありがとう」と言われる時があり、住民の方々が喜んで見られる様子を見られ、仕事にやりがいを感じます。

#### 伊勢原市役所で働いて身についていたものは何ですか？

住民の方への説明など、コミュニケーションを取る能力が高めることができました。日々の業務の中では、直接住民の方とお話しする機会が多いので、コミュニケーションスキルが高まるだけでなく、コミュニケーションを積極的に図る意欲も高まってきました。

#### 学生時代にやっておいたほうがいいことは？

分からないままにして、仕事に失敗してモチベーションが下がってしまうよりも、疑問はしっかりと解決して、的確な仕事をするほうが、本人もよい気持ちになれます。分からないことがあったら、遠慮しないで質問できるように習慣づけることが大切だと思っています。



#### 休日の過ごし方は？

趣味は自動車やバイクでドライブをすることです。休日は、日々の業務の息抜きに様々な場所へ行ったりして、身も心も休ませています。休日を思いっきり満喫することで、仕事に対するモチベーション向上につなげ、充実した日々を過ごしています。

#### POINT! 伊勢原市役所を選んだ理由は？

学生時代では環境土木の勉強をしていて、ものづくりに携われる職業に就きたかったののでいくつかの自治体を受験しました。市役所は、市民の方々に一番距離の近い自治体であるとともに、伊勢原市は自然も豊かで学んできた環境土木の知識が地域貢献に活かせると思ったので、伊勢原市役所を選択しました。



総務部  
情報政策課

企画部  
危機管理課

## 入庁10年目の節目を迎えて

お二人のお仕事の内容を  
教えてください？

(危機管理課職員)

私の所属する危機管理課では、自然災害、国民保護事案などから市民の生命、身体、財産を確保するにはどうしたらよいかを日々問題解決に向けて、活動しています。

災害時の対応はその場で瞬時に判断することが求められるため、公私ともに常に緊張感を持って過ごすようにしています。

(情報政策課職員)

私の所属する情報政策課は、大きく二つに分けると情報システムと情報政策の業務を行っています。

情報システムでは税や福祉に関する市役所内のシステムの管理・運用を行い、情報政策では業務効率化や電子自治体の推進に向けてマイナンバー制度やICTの活用などを行っています。

また、情報セキュリティに関しても、システム面だけではなく、職員の危機管理意識の向上などを目指しています。

そういった面で言うと危機管理課の業務に一部近い部分があるかもしれませんね。

仕事の中で「大変さ」や「やりがい」を感じる時はどのようなときですか？

(危機管理課職員)

大変だと感じるのは災害対応

の時です。大雨や台風の際は、避難勧告など発令時期を判断するために必要な気象情報や雨量情報の分析を行います。避難情報は市民の安全に関わるため、強い責任感をもって取り組んでいます。

日ごろから防災気象情報や、法律知識を覚えるようにして、いざという時に備えています。

また、私がやりがいに感じていることは、防災対策や意識の向上に繋がる取り組みに携われることです。市の防災訓練や学校での防災教室等をきっかけに、家族や地域全体の防災意識が高まるとやりがいを感じます。

(情報政策課職員)

私が最も大変だと感じたことは、後輩が初めて入ったときに、なかなか自分の思っていることが上手く伝えられず、仕事を教えてあげることに苦労したことです。しかし、相手の立場になって、分かり易い伝え方を考えることの大切さに気づくことが出来、とてもいい経験になりました。

また、情報セキュリティのルールを職員が遵守しているかの監査業務を行っていますが、その際に他部署と共同で取組を進める中で、職員の意識が改革されていると実感出来たことにやりがいを感じました。





## 伊勢原市役所を選んだ理由は？

（危機管理課職員）

もともとは警察官志望で、警視庁にも合格していました。

しかし、伊勢原で育ったこともあって、住民の方々がさらに住みやすい地域にしていきたいという気持ちが強かったので、伊勢原市役所を選択しました。

警察官になることは子どもの頃からの夢でしたが、今もその時の決断に間違いは無かったと感じています。

（情報政策課職員）

私は、知らない土地に住んでみることに興味があり大学も地元の茨城ではなく、群馬に進学しました。

就職先を選ぶ時も新たな場所でチャレンジしてみたいと思っていたので、都会に近くも自然の多い神奈川県で就職先を探しました。

その中でも伊勢原を選んだ理由は、都心や鎌倉などの観光地へも行き易く、自然豊かで住みやすそうに思え、とても魅力のあるまちだと感じたからです。

実際に働いてみると、伊勢原の方々はとても優しい方が多く安心して働くことができ、この市役所に入庁して本当に良かったなと感じています。

## 伊勢原市役所で働いて身についていたものは何ですか？

（危機管理課職員）

単純に目先の業務をこなすのではなく仕事をするにあたって、この仕事を行う意義や先のことを判断して業務を行っていきけるようになりました。

特に危機管理の仕事は、刻一刻と変化する状況に対して迅速かつ適切に判断することが求められるため、何を目的としているか、自分の中の軸を作って仕事をすることを意識しています。

（情報政策課職員）

情報政策課では市役所にある多くの業務システムに関わるため、様々な知識を吸収することができ、広い視野で物事を考える意識が身についたと思っています。

また、情報政策の分野は5GやSociety 5.0の到来をはじめとする技術の進展など、予想できない新たな技術に対応することが求められるため、ICTに関する業界紙を読むなど、常に最新の情報を手に入れるようにしています。

これからの時代は情報の早さが全てだと思っています。これからも広くアンテナを張り巡らし、時代の変化に柔軟に対応していきたいですね。

## 休日の過ごし方は？

（危機管理課職員）

私は旅行が好きなので、休日には色々なところを巡っています。自分の住んでいるところにはない魅力を知るのが楽しいので、北海道に日帰り旅行とかもしていました。

今は新型コロナウイルス感染症の影響で旅行を控えています。早く以前のように出かけられるようになったらいいなと願っています。

（情報政策課職員）

私も休日は出かけることでリフレッシュしていますね。特に山登りをすることが好きで、日本百名山に登録されている山などを中心に登っています。

山を登るごとに心が洗い流されるようで、また月曜日を気持ちよく迎えます。

また、今は家で過ごすことが多いですが、子供と遊ぶ時間も心が安らぐひと時です。

今後も、家族や友人たちと山登りに限らずキャンプや釣りなど、アウトドアを満喫したいです。

